手紙

慶応三年五月中下旬頃　高柳楠之助あて

坂本龍馬

青空文庫

一翰致敬呈候。然ハ先夜御別後、広く世界之数例を推し候処、御船を以再度衝突被成候ニ依而致沈没候事故、何分貴方より其条理御立被下候事、必然之道理ト相聞へ申候。去ル四月鞆津御談判之節、世界之公法ニより処置可致御定約仕候通、於当地早　御決着可被遣候筈之処、先夜之御議論ニ者(は)世界之公法トハ幕府之御処置相願い候上の事ト被仰聞候。其儀なら者(ば)、当時大樹公ニも御出京ニ相成居候事故、鞆津直様御上坂可被成筈ニ候。将御出発後ハ唯貴方の御用のミ御達し被成、私共困難の事件者時日を御延し被成候。是不解の第一ニ候。

且於当方所ニハ未御談判ニても明白ニ御座候。此条私共江冤罪を御被セ被成候御手段ニ相当り候。

是不解之第二候。於私も御存之通、船并公物多沈没、不計も箱主用候得者、徒ニ移時日候てハ寡君申し訳難相立候。因テ早　貴方より敝藩官長江御引合可被成遣候。若其儀も遅延被成候時ハ、最早乗組一同貴藩之御手ニ倒レ申より外無之候。御病中乍御気毒此条申上置候。

宜御如意も可成下候。謹言

月日　　才谷梅太郎

高柳楠之助様

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※底本手紙の写真のキャプションに、（下関　河村家）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
※直筆の手紙の折り返しに合わせた改行は、省いて入力しました。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年8月26日作成
2011年6月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応三年五月中下旬頃　高柳楠之助あて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/